



新潟大学

教育学部同窓会



良寛ブロンズ像『天上大風』—良寛と凧を持つ村童—

制作者 茂木弘次

「天上大風」の揮毫者 加藤僖一

昭和57年7月17日 建立除幕式

新潟大学教育学部同窓会事務局

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050



新潟大学教育学部

同窓会



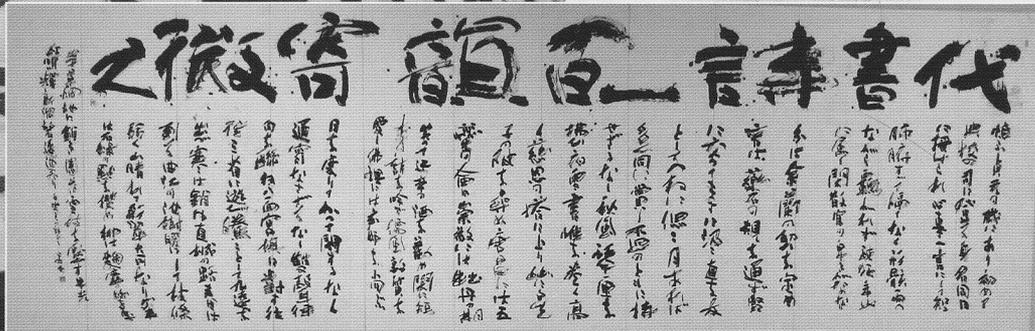
教育学部校舎



教育学部書道科練習風景



良寛ブロンズ像



教育学部書道科練習風景と作品

同窓会の歴史



新潟大学教育学部同窓会

1 歴代会長

歴代会長	事務局	学部長
		橋本 喬(事務取扱) 昭和24年5/31~7/3
		①千葉 胤成 昭和24年7/4~昭和28年3/31
		橋本 喬(事務取扱) 昭和28年4/1~4/16
①江口 健一 昭和31年11/25~	高橋 正名 昭和31年~ 十日町中 金子 正 昭和32年~ 燕東小(33年~)	②田代 秀穂 昭和28年4/17~昭和36年4/16
②本間 英輔 昭和38年9/30~	田中 正美 昭和35年~ 吉田 三男 昭和40年~ 学部新館F3	③小池 行松 昭和36年4/17~昭和38年3/31
③江口 直禎 昭和42年7/16~	田中 正美 昭和44年~ 旧図書館2F	④石塚 松司 昭和38年4/1~昭和40年3/31
④巻口 健一 昭和46年~	高島 廉平 昭和46年~	⑤山崎 鉄治 昭和40年4/1~昭和42年3/31
⑤荻野 信昭 昭和48年~	紫竹 利直 昭和50年~ 東新潟中	⑥小池 行松 昭和42年4/1~昭和44年2/28
⑥大関 雄策 昭和52年~	齋藤 俊一 昭和52年~ 松浜小 栗林 貞夫 昭和54年~	是沢 三郎(事務取扱) 昭和44年3/1~昭和46年3/31
⑦吉澤 孝一 昭和56年~	小池 進 昭和56年~ 附属養護学校	⑦是沢 三郎 昭和46年4/1~昭和50年3/31
⑧山田 舜一 昭和58年~	如澤 寛 昭和59年~	⑧占部 誠 昭和50年4/1~昭和52年3/31
⑨巻口 健一 昭和60年~	石塚 定雄 昭和60年~ 原田 薫ノ作 昭和61年~	⑨是沢 三郎 昭和52年4/1~昭和55年4/1
⑩安藤 耕平 平成元年~	白倉 辰男 昭和63年~ 野崎 一寿 平成2年~	⑩篠原 正敏 昭和55年4/2~昭和57年4/1
⑪磯辺 浩昭 平成5年~	菊池 義一 平成4年~ 松原 誠 平成6年~	⑪歌代 勤 昭和57年4/2~昭和59年4/1
⑫石川 幸一 平成9年~	湯浅 優 平成8年~	⑫田中 利一郎 昭和59年4/2~昭和63年4/1
⑬藤井 保男 平成13年~	佐野 一彦 平成11年~ 須貝 久弥 平成14年~	⑬高山 嘉 昭和63年4/2~平成4年4/1
⑭齋藤 寿一郎 平成17年~	竹内 淳一郎 平成17年~ 平成19年~ (附属特別支援学校) 若林 雄蔵 平成20年~ 教育学部内 櫛谷 秋男 平成21年~	⑭田中 榮一 平成4年4/2~平成8年3/31
⑮佐藤 重勝 平成22年~		⑮佐竹 昭臣 平成8年度~
⑯安達 徹 平成25年~		⑯伊藤 弘史 平成12年度~
		⑰生田 孝至 平成14年度~
		⑱森田 龍義 平成18年度~
		⑲五十嵐 尤二 平成22年度~
		⑳鈴木 賢治 平成25年度~



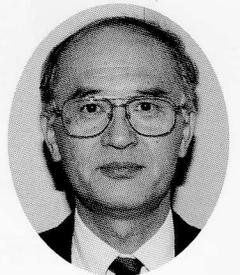
【12代】
石川 幸一



【13代】
藤井 保男



【14代】
齋藤寿一郎



【15代】
佐藤 重勝



【16代】
安達 徹

2 同窓会の沿革

年代	期	同窓会の主な出来事	大学や学部の主な出来事
昭和24年	同窓会の設立に向けて		5月31日 「国立新潟大学」(教育学部)の開校 高田(芸能科)長岡(家政科)新発田(職業、職指)を除き、 2年修業後は新潟本校へ
昭和26年		6月 同窓会世話人会発足(新潟市労働会館) 3分校の代表者が集まり、統一同窓会の構想を練る	
昭和28年		3月 3分校修・卒連絡協議会発足	3月 新発田分校は新潟学部構内に移転する。 4月 新潟分校と改称
昭和30年 昭和31年		教育学部同窓会の名称(仮称)で仮規約を設ける 中越地区修卒生を中心に、準備会世話人会を開く 11月25日 同窓会発会式を挙行(長岡市公会堂)	4月 新潟分校は新潟本校に統合
昭和33年	校舎改築(分校統合)と組織確立に向けて	4月20日 「教育新報」創刊号を発行 12月27日 「炬火」創刊号を発行	
昭和34年		同窓会より分校統合についての陳情書を大学に提出する	34年入学生より、2年課程を廃止し、すべて4年課程とする。 教育学部校舎改築期成同盟発足(会長 県知事)
昭和36年			新潟大学全教授会で、教育学部の統合を検討
昭和37年			教養部が独立を決定(実際には39年度)
昭和38年		会員名簿の作成	教育専攻科設置(修業1年、学校教育、音楽、書道) 評議会で全学を一か所のキャンパスに収容することを決定
昭和40年			5月 第136評議会で教育学部は新潟に同時統合を決定
昭和42年			新潟大学同窓会発足
昭和43年		5月26日 「創立15周年記念式典」(学部体育館) 「炬火」2号発行、会員名簿の作成	3月30日 教育学部新校舎落成式 4月 評議会で3分校統合を確認、大学院設置を決定する
昭和44年			大学の体質改善と統合問題をめぐって、大学紛争が起こる 養護学校教員養成課程設置(定員20名)
昭和45年		大学に陳情	教育学部統合問題について、アンケート調査実施 (一般市民、教官、在学生)
昭和47年	分校統合について、対策会議を設ける(教官も出席) 母校の完全統合と大学院設置に向けて署名活動(6万人) 募金運動を展開(父兄後援会も設ける)	田中首相・稲葉文相主導による新構想教員養成大学論が 起こる(全国11ブロック制)	
昭和48年	分校統合と大学院設置に向けて	2月4日 第1回各科団体研究協議会を開く(新潟小学校) 10月14日 「創立20周年記念式典」(学部体育館)	
昭和52年		11月13日 「創立25周年記念研修総会」(401講義室)	附属養護学校の開校
昭和53年		会員名簿の作成	10月1日 新構想教員養成大学の上越教育大学の開校 (小学校教員200名、大学院400名)
昭和54年		統合校舎の促進・施設設備充実のため、 一口千円の募金運動を展開	3月 養護学校新校舎竣工
昭和56年			五十嵐キャンパスに統合(下記課程を除く)
昭和57年		7月 統合記念に「良寛ブロンズ像」を寄贈	五十嵐キャンパスに統合(音楽、美術、体育、技術、養護) 10月17日 統合記念式典・祝賀会
昭和59年			大学院教育学研究科設置(学校教育10名、教科24名)

年代	期	同窓会の主な出来事	大学や学部の主な出来事
昭和61年	新しい同窓会活動を求めて	1月15日 第1回女性会員研修集会始まる 会員名簿の作成	
平成4年			6月 附属新潟小学校の新校舎落成
平成6年		会員名簿の作成	3月 附属新潟中学校の新校舎落成 新潟大学教養部の廃止
平成10年			教育人間科学部と改組(5課程)
平成11年			6月1日 「新潟大学創立50周年記念式典」(ホテル新潟)
平成13年		会員名簿の作成	
平成14年		OB会員を募る	
平成15年		10月12日 「同窓会創立50周年記念祭」(イタリア軒)	
		10月12日 「研修の集い」と「女性会員の集い」を併せて 「同窓生の集い」を開催	
平成16年		同窓生全員にアンケート調査を行う	
		8月 ホームページを開設する	「独立法人新潟大学」となる 「全学同窓会連絡協議会」が設立 教員免許法認定公開講座開設
平成17年		支部を再編する(事務局から直接学校などへ連絡) 準会員(学生)を募る	
平成18年		養護学校のほかに、教育学部内に事務局を設置する	
平成19年		本部(事務局)を教育学部内のみとする	
平成20年			学部名称を教育学部とする
平成21年		10月 学部と共催で「ホームカミングデー」開催	
			10月 新潟大学創立60周年記念事業 (ANAクラウンプラザホテル) 教員免許更新制開始
平成22年		4月入学生から同窓会永年会費制(永年会員)を導入する 「教育新報」の発行を年2回とする	

3 会員数(会費納入者)の推移

会員数は、年度の会計決算表から算出しました。翌年度になって会費を納入したり、一度に複数年度分を納入してくださる方もあるので、多少重複しているかもしれません。

年度	会員数	準会員	永年会員	合計
昭和32年度	200人くらい			
40年度	1135			1135
45年度	1369			1369
52年度	1980			1980
55年度	2174			2174
60年度	2968			2968
平成元年度	3396			3396
5年度	4108			4108
11年度	3535			3535
14年度	14年度からOB会員(個人会員)を募る			
16年度	3710			3710
17年度	3664	332		3996
18年度	3661	680		4341
19年度	3752	1067		4819
20年度	3947	1415		5362
21年度	3958	1410		5368
22年度	3881	1062	318	5261
23年度	3880	675	666	5221
24年度	(個人会員364人) 3865	327	1028	5220
25年度	未定	0	1369	未定

4 会則の変遷

①昭和31年7月20日設定(昭和31年11月20日より施行)

主な内容

- 1、本部は毎年幹事会の決定に基づいて、適切な場所に設置する。
- 2、役員として、会長、副会長、常任幹事、事務局を設ける。
- 3、常任幹事を持って、常任幹事会を構成し(執行機関)、その下に事務局を置く。
常任幹事会は、常任幹事長が之を招集する。
- 4、本会の会費は、年額200円とし、6月に納入する。

②昭和41年12月26日改正(42年4月1日施行)

- 1、本部を教育学部内に置く。
- 2、常任幹事長を事務局長、副幹事長を事務局次長とする。
- 3、幹事会(執行機関)は会長が招集する。
- 4、決議機関として評議会(支部長、学科代表、年度代表で構成)を置く。

昭和53年の役員会で、共済規定を設ける(いつまで執行したかは不明)
(死亡、病氣見舞い、非常変災の場合)

③平成元年6月10日改正(平成2年4月1日施行)

会則等検討委員会の答申を受けて決定

- 1、会員に大学院修了生を加える。
- 2、会則全体の見直しを図る。(総会、評議会、理事会など)

④平成3年2月23日改正(平成3年4月1日施行)

- 1、専門部の設置(広報部、研修部)
- 2、理事会に代わり、本部会を設置する。

⑤平成16年度10月2日改正(平成17年4月1日施行)

- 1、第20条 学生(準会員)は、入学時に入会金と在学期間の会費計5千円を納入する。
準会員制の導入(平成17年度から、学生を準会員とする)
- 2、組織部、交流部を設置する。

⑥平成18年6月3日改正(平成19年4月1日施行)

事務局を附属養護学校から附属特別支援学校に置く。

⑦平成20年6月7日(平成20年6月8日施行)

第1条 本会は新潟大学教育学部同窓会と称し、事務局を教育学部内に置く。
(名称変更と事務局の移転)

⑧平成21年6月6日(平成21年6月7日施行)

第20条 学生は、入学時に永年会費として3万円を一括納入する。
(平成22年度入学生から、永年会費制の導入)

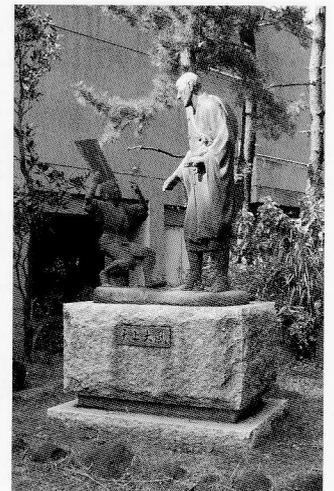
5 周年行事

5年目や10年目の周年行事の実施が難しく、15周年記念事業を迎えて、あらためて会員は喜びを交し合うことができました。

行事	期日	内容	当時の会長
15周年記念事業	昭和43年5月26日	①記念式典(旭町キャンパス)約500名(同窓会員は約300名参加) 渡辺新潟市長、山内学長、小池学部長、大井教育委員、研修団体 ②記念講演「発酵と人生」鈴木武夫(共和発酵KK)教育学部卒業生 ③記念祝賀会(付属体育館)女性会員は3名参加 機関誌「炬火2号」発行(11月1日)	江口 直禎
20周年記念事業	昭和48年10月14日	①記念式典(旭町キャンパス、学部体育館)約300名参加 ②記念講演「教育界の現状と課題」村松喬(前毎日新聞論説委員) ③祝賀会	荻野 信昭
25周年記念事業	昭和52年11月13日	25周年記念研修総会 ①開会式(教育学部401講義室) ②パネルディスカッション「これからの新しい学校のあり方を求めて」 ～子どもが生活している学校とは～ ③映画と講演 記録「授業～人間について～」林 竹二(宮城教育大学) 講演 岩浅 農也(宮城教育大学) 会員名簿の発行	大関 雄策
新潟大学統合記念事業	昭和50年7月	教育学部に良寛ブロンズ像寄贈	吉澤 孝一
50周年記念事業	平成14年10月12日	①記念式典(イタリア軒) 加藤新潟市教育長、長谷川学長、伊藤、佐竹、生田学部長、研修団体 ②記念演奏会「ヴァイオリン演奏」川島 成道 ③記念祝賀会(来賓10人、顧問9人、本部役員28名、一般会員126人) 記念誌「新潟大学教育学部の50年の歩み」発行	藤井 保男
新潟大学開校60周年記念事業	平成21年10月18日	ホームカミングデー(午前中 教育学部と共催)22名参加 自己紹介、交歓、昼食会 教育学部創立135周年記念写真展(森田学部長主催) 森田学部長作成の記念写真集CDのプレゼント	齋藤寿一郎
60周年記念事業	平成25年12月	「同窓会の歴史」の発行	安達 徹

6 教育新報の歴史

年度	発行回数	規格	備考		
昭和33年 4月22日	12回	A3版2P	第1号創刊		
昭和33年度			12号まで12回発行 第38号まで10円集金		
昭和33年 12月27日			機関誌「炬火1号」発行		
昭和34年度			8回	13～22号	
昭和35年度			3回	23～25号	
昭和36年度			1回	26号	
昭和37年度			0回		
昭和38年度			1回	27号	
昭和39年度			4回	28～30号	
昭和40年度			2回	31～32号	
昭和41年度			2回	33～34号	
昭和42年度			2回	35～36号	
昭和43年度			3回	B5版4～6P	37～39号
昭和43年 11月1日					機関誌「炬火2号」発行(創立15周年記念誌)
昭和44年度	2回	A3版4P	40～41号		
昭和45年度	1回	B5版4～6P	42号		
昭和46年度	2回		43～44号		
昭和47年度	4回		45～48号		
昭和48年度	3回		49～51号 50号は8P		
昭和49年度	2回		52～53号		
昭和50年度	4回		54～57号		
昭和51年度から	3回		年間3回発行に定着 111号から8P		
平成12年度から	3回	A4版8P	第129号からA版		
平成22年度から	2回	A4版8～10P	第159号から年間2回発行		



良寛ブロンズ像

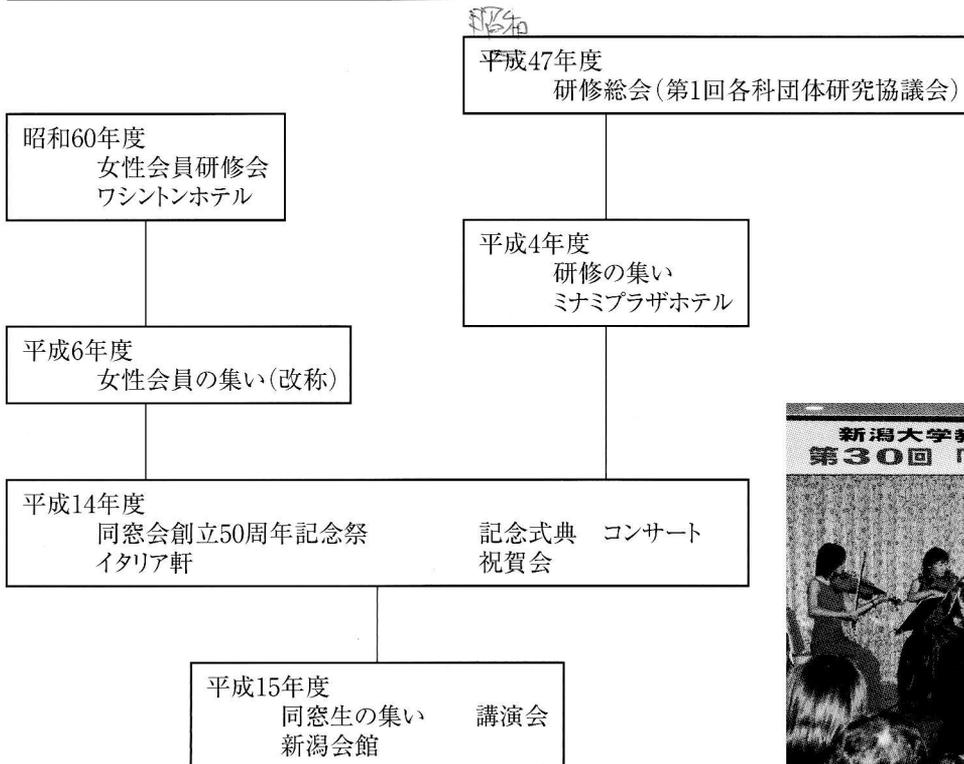
初めは第2代目会長の本間英輔氏が担当して、精力的に発行しました。会費とは別に1部10円を取りましたが、それもなかなか集まらず、苦勞されたことが記述されています。

7 会費の推移

「できるだけ会費は安くして、多くの会員で集まろう」という願いは、現在でも年会費千円(昭和53年度から)に表れています。これは、学校(事業所)ごとに連絡し、学校ごと会費を納入するシステムがあったからこそできたことでした。新潟大学教育学部卒業者が近年少しずつ減少していますが、できる限り継続していきたいと思っています。

年度	金額	内容
昭和31年7月20日	200円	本部会費は200円とし、毎年6月に納入する。
昭和33年度		会費の検討をする
昭和38年12月16日		会費の検討をする。昭和39年から200円に100円(校舎改築期成同盟分担金)を合わせて300円とする。
昭和39年4月1日	300円	
昭和40年度	300円	34年修卒までは400円(ほかに校舎改築分担金100円プラス)、35年以降の者は300円(同)とする。
	400円	新潟支部と燕支部は支部で一括納入し、そのほかは学校ごと納入する。
昭和41年度	400円	入学金はそのほか500円
昭和47年度	600円	入学金はそのほか500円
昭和48年度	800円	
昭和53年度	1000円	支部のあるところ(12支部)は支部で一括納入する。ほかは個人で納入する。
昭和54年度		会費納入は現金書留から郵便振替にする。
平成16年度		支部の活動の検討をする。17年度から会費納入、資料郵送を事務局直接とする。
平成17年度		会費は支部一括納入から学校ごと納入とする。資料も支部配布ではなく学校ごとに郵送する。
平成20年度	(5千円)	17年度入学生から、在学期間は準会員とし、入学時に入会金千円と4年間の会費4千円を納入する。特設委員会を設置して、会費の検討をする。
平成22年度	(3万円)	平成22年度入学生より、永年会費制を導入する。入学時に3万円を納入する。

8 同窓生の集いの歴史



平成16年、駒澤研修部長が田中幸治教官に相談し
平成23年度まで8回音楽科教官によるコンサート
新潟市古町だいしホール

平成24年度から講演会 新潟会館

同窓生の集い

No.	名称	期日	会場	内容	同窓会長	学部長
1	第1回研修総会 (第1回各科団体 研究協議会)	1973/2/4(日)	新潟小学校	学科活動情報交換、シンポジウム 講演 黒田正典(東北大学) 「現代における人間形成の問題点」	巻口 健一	是沢 三郎
2	第2回研究協議会	1973/9/30(日)	学部会議室	それまで各科でやっていたものを統一 特別講演 山田源行(県庁学事課)「新潟県教育の課題」	萩野 伸昭	是沢 三郎
3	第3回研修総会	1974/10/13(日)	教育学部	シンポジウム 「指導内容の重点化をどう進めるか」 講演 長沼甲子男(日報論説委員)「新潟県教育界への提言」	萩野 信昭	是沢 三郎
4	第4回研修総会	1975/11/9(日)	教育学部	パネルディスカッション 「子どもを育てるとは」 講演 大庭みな子(芥川賞作家) 「世界の中での人間」 懇親会	萩野 伸昭	占部 誠
5	研修の集い	1976/11/14(日)	土地改良会館	校長・教頭・主事の会、女性会員の会、若手会員の会 「同窓会を語る会」 懇親会	萩野 伸昭	占部 誠
	同窓会25周年 記念研修会	1977/11/13(日)	旭町教育学部	式典 パネルディスカッション 映画 記録・授業「人間について」 講演 岩浅 農也(宮城教育大)	大関 雄策	是沢 三郎
6	特別研修会	1978/11/26(日)	旭町教育学部	講演 (支部代表参加)	大関 雄策	是沢 三郎
7	研修の集い	1979/11/25(日)	旭町教育学部	講演 榊田 久雄(学部教授)「教育学部のこれから」 岩淵信一(弁護士)「才能に応じた教育を」	大関 雄策	是沢 三郎
8	研修の集い	1980/11/16(日)	旭町教育学部	講演 高山 次嘉(学部教授) 「新しい教育の方向～シューマニジング・ザ・スクール～」 各科の集い	大関 雄策	篠原 正敏
9	研修の集い	1981/10/18(日)	五十嵐キャンパス	講演 堀内 純子(前愛光学園課長) 「最近の少女の非行について」 各科の集い	吉澤 孝一	篠原 正敏
	同窓の集い& 統合記念事業	1982/10/17(日)	五十嵐キャンパス	教育学部統合記念式典 懇親会 約300名参加	吉澤 孝一	歌代 勤
10	創立30周年記念 研修の集い	1983/10/23(日)	附属養護学校 新潟会館	講演 黒田 正典(東北福祉大) 「青少年問題論の現状と提言」(130名参加) 各科のつどい(懇親会も)	山田 舜一	歌代 勤
11	研修の集い	1984/10/14(日)	新潟教育会館	講演 丸山 直滋(新大脳研) 「脳生理学から見た性行動と性心理学」 ～変わりつつある世の中をいきていかなばならぬ子供たちのために～	山田 舜一	田中利一郎
12	研修の集い	1985/10/20(日)	市中央公民館 大和デパート	講演 金田 正一(野球評論家) 「わが野球人生」 懇親会	巻口 健一	田中利一郎
13	研修の集い	1986/10/5(日)	万代シルバーホテル 附属養護学校 新潟教育会館・魚金	講演 前田浩五郎(通産省研究所技官) 「情報化社会における人間生活と学校教育」 各科の集い	巻口 健一	田中利一郎
14	研修の集い	1987/10/4(日)	万代シルバーホテル 附属養護学校 新潟教育会館・魚金	講演 蒲原 宏(がんセンター副院長) 「上手な生き方、上手な死に方」 各科の集い	巻口 健一	田中利一郎
15	研修の集い	1988/10/2(日)	中小企業会館 新潟教育会館	講演 辰野 千尋(上越教育大) 「これからの学校教育における教師の役割」 各科の集い	巻口 健一	高山 次嘉
16	研修の集い	1989/10/1(日)	ワシントンホテル 附属養護学校 教育学部	講演 若杉 正(元日報) 「これからの教育への提言」 各科の集い	安藤 耕平	高山 次嘉
17	研修の集い	1990/10/7(日)	教育学部、新潟教育会館	講演 新井 満(作家) 「私のライフスタイル～文学・音楽・映像～」 シンポジウム 各科の集い	安藤 耕平	高山 次嘉
18	研修の集い	1991/10/6(日)	教育学部、新潟教育会館	全体会 講演 千葉 紘子(歌手) 「迷って道を失った子どもたちの心～篤志面接委員の体験から～」 各科の集い	安藤 耕平	高山 次嘉
19	研修の集い	1992/10/4(日)	ミナミプラザ ミナミプラザ新潟教育会館	講演 松谷みよ子(作家) 「親から子どもたちに語り継ぐもの～優しさ・思いやりの心を育む～」 各科の集い	安藤 耕平	田中 榮一
20	研修の集い	1993/10/3(日)	ミナミプラザ 新潟教育会館	支部・学科代表者会、 講演 落合 恵子(ジャーナリスト) 「心豊かに生きたい～自分に生きる～」 各科の集い	磯辺 浩昭	田中 榮一
21	研修の集い	1994/10/2(日)	ミナミプラザ 新潟教育会館	支部・学科代表者会、 講演 江森 陽弘(ジャーナリスト) 「本音で語りたい～いま子どもたちは～」 各科の集い	磯辺 浩昭	田中 榮一
22	研修の集い	1995/10/1(日)	ミナミプラザ	全体会 講演 富永一朗(漫画家) 「マンガとロマンと人生と」 各科の集い	磯辺 浩昭	田中 榮一
23	研修の集い	1996/10/6(日)	ミナミプラザ	支部・学科代表者会、 講演 アント・ウィッキー(タレント) 「ウィッキーさんから見た日本人～素敵な国際人になるための条件～」 各科の集い(7科)	磯辺 浩昭	佐竹 昭臣
24	研修の集い	1997/10/5(日)	ミナミプラザ	支部・学科代表者会、 講演 河合 雅雄(モンキーセンター) 「新しい家族像を求めて～サルの生態から学ぶ～」 各科の集い(10科)	石川 幸一	佐竹 昭臣
25	研修の集い	1998/10/4(日)	ミナミプラザ	支部・学科代表者会、 講演 深谷 和子(東京学芸大学教授) 「ふつうの子の<荒れ>を考える」 各科の集い(12科)	石川 幸一	佐竹 昭臣

No.	名称	期日	会場	内容	同窓会長	学部長
26	研修の集い	1999/10/3(日)	ミナミプラザ	支部・学科代表者会、 講演 多胡 輝(千葉大学教授) 「21世紀を担う子供たち」 各科の集い(12科)	石川 幸一	佐竹 昭臣
27	研修の集い	2000/10/1(日)	ミナミプラザ	支部・学科代表者会、 講演 早乙女勝元(作家) 「親でなければできないことは何か」 各科の集い(12科)	石川 幸一	伊藤 浩史
28	研修の集い	2001/10/7(日)	ミナミプラザ	支部・学科代表者会 講演 春遍雀來(ハルベンジャック 日本語漢字研究評論家) 「日本の教育 何が問われているか—ユダヤとの比較—」 各科の集い(13科)	藤井 保男	伊藤 浩史
29	50周年記念祭	2002/10/12(土)	イタリア軒	同窓会創立50周年記念式典 記念演奏 川島成道(バイオリン) 記念祝賀会	藤井 保男	生田 孝至
30	同窓生の集い	2003/10/18(土)	新潟会館	支部・学科代表者会、 弦楽四重奏(マドリガル) 懇親会	藤井 保男	生田 孝至
31	同窓生の集い	2004/10/2(土)	だいにしホール ホテルディアモント新潟	評議会 ピアノリサイタル 田中幸治(本学部教員) 懇親会	藤井 保男	生田 孝至
32	同窓生の集い	2005/10/8(土)	だいにしホール ホテルディアモント新潟	支部・学科代表者会、 チェロとピアノコンサート 宇野哲之(本学教員)・藤井晶子(ピアノ奏者) 懇親会	斎藤寿一郎	生田 孝至
33	同窓生の集い	2006/9/13(土)	だいにしホール ホテルディアモント新潟	支部・学科代表者会、 フルートとピアノコンサート清水理恵(フルート奏者)・鈴木賢太(本学教員) 懇親会	斎藤寿一郎	森田 龍義
34	同窓生の集い	2007/10/6(土)	だいにしホール ホテルディアモント新潟	支部・学科代表者会、 声楽ジョイントコンサート 松浦良治(本学教員)・光良子(メソソプラノ) 懇親会	斎藤寿一郎	森田 龍義
35	同窓生の集い	2008/9/27(土)	だいにしホール ホテルディアモント新潟	支部・学科代表者会、 ピアノコンサート 田中幸治(本学教員)・谷潤子(朗読) 懇親会	斎藤寿一郎	森田 龍義
36	同窓生の集い	2009/11/7(土)	だいにしホール ホテルディアモント新潟	チェロとピアノコンサート 宇野哲之(本学教員)・高木由美(ピアノ) 懇親会	斎藤寿一郎	森田 龍義
37	同窓生の集い	2010/10/16(土)	だいにしホール ホテルディアモント新潟	ピアノ連弾コンサート 鈴木賢太(本学教員)・鈴木順子(ピアノ奏者) 懇親会	佐藤 重勝	五十嵐 尤二
38	同窓生の集い	2011/10/8(土)	だいにしホール 新潟会館	歌とピアノコンサート 松浦良治(本学教員)・栄長敬子(ピアノ奏者) 懇親会	佐藤 重勝	五十嵐 尤二
39	同窓生の集い	2012/9/29(土)	新潟会館	講演 雲尾 周(本学・人法経大学院教員) 演題 「これからの学校と地域社会」 懇親会	佐藤 重勝	五十嵐 尤二
40	同窓生の集い	2013/12/14(土)	新潟会館	講演 滝沢かほる(前本学教員) 演題 「ギムナストラダ〜体操への道〜」 懇親会	安達 徹	鈴木 賢治

女性会員の集い

No.	期日	名称	会場	会費	内容
1	昭和61.1.15	女性会員研修会	ワシントンホテル	300円 (コーヒー代)	講演 石坂妙子(本学教員)、フリータイム、ミーティング(情報交換) 演題 「古典にみる女性の世界〜王朝の恋(泉式部日記)〜」
2	昭和62.1.15				講演 重原靖子(企業 美野屋女若主人)、フリータイム、ミーティング 演題 「をりをりの味」
3	昭和63.1.15				講演 大浦容子(本学教員)、フリータイム、ミーティング 演題 「こんにちは ストレス」
4	平成元.1.15				講演 阿部洋子(フリーアナウンサー)、フリータイム、ミーティング、テーマソング(春の日の花と輝く)コーラス 演題 「話し方、語り方へのこだわり」
5	平成2.1.15				講演 ノイス金子マργレット(本学非常勤)、フリータイム、ミーティング 演題 「ドイツ人から見た日本人」
6	平成3.1.15		ワシントンホテル	400円	講演 河内さくら(料理研究家)、フリータイム、ミーティング(講演をお聞きして) 演題 「食からの人間形成」
7	平成4.1.15				講演 大津浩(本学教員)、会食、フリータイム、情報交換 演題 「結婚してもシングル時代を考える」
8	平成5.1.15				講演 山本敏夫(山野草研究)、演題「万葉の花」、会食、情報交換、全員合唱「花の街」 実践発表 土田志津子「こんにちは国際理解」、五十嵐美千子「体験活動を生かした仲間づくり」
9	平成6.1.16				講演 間藤侑(本学教員)、演題「クレヨンしんちゃん小学校に入る」、会食、情報交換 実践発表 流石通子「開かれた人間関係を育てる学級経営」、小野晶子「子供の思いを生かした学級づくり」
10	平成7.1.16				講演 平田大六(大洋酒造)、演題「山と人生」、会食、コンサート(弦楽四重奏団ランナー) 実践発表 川口由美子「素敵な女性に出会えて」
11	平成8.1.14	講演 (本学教員)、会食、先輩から一言、情報交換・実践発表			
12	平成9.1.15	講演 佐藤幸子(元BSNアナウンサー)、演題「耳にいいこと、心にいいこと」、会食 先輩から一言 本郷操「このごろ思うこと」、実践紹介 小林十三子「出会った子どもたち」			
13	平成10.1.15(木)	講演 北上あつ子(市美術館学芸員)、演題「楽しい美術との出会い方」 先輩から一言 遠藤ノリ子「歌と共に」、実践紹介 相模真枝「わが家へようこそ!草の根国際交流」			
14	平成11.1.15(金)	講演 小林敬子(アカデミー・オブ・パフォーマンス代表)、演題「これでいいの?日本人」 先輩から一言 石見勝子「白雪姫とおばあさん」、実践紹介 川崎正子「あなたも行ける子づれ海外旅行」			
15	平成12.1.16(日)	お話 瀬賀倫夫(本学教員)、演題「アルゼンチン〜チャカレラと友情」、演奏(デュオ ロス・デル・セキヤ) 先輩から一言 佐藤ノリ「自由な時間の中で」、実践紹介 伊藤雅子「通常・特殊・養護・言葉の教室を担当して」			
16	平成13.1.21(日)	講演 伊野義博(本学教員)、演題「音階と日本人」、先輩から一言 岸本洋子(花づくりに時間を忘れて) 実践紹介 皆川幸子「私のボランティア活動」			
17	平成14.1.20(日)	講演 落希一郎(カーブドッチ社長)、演題「新潟をワインランドにする夢」 先輩から一言 笠原照子「元気で生きる秘訣」 実践紹介 小黒美和子「あつというまに20年」			

9 入学生の比較

昭和56年五十嵐キャンパスに統合するまで(音、美、体、技、養護は57年)、下の表のように長岡・高田校舎にも学生が在学しました。

昭和34年4月入学生(全面4年課程実施初年度)

課 程	新潟本校	長岡分校	高田分校	計	内 訳
小学校教育科	35	81	84	200	
中学校教育科	40	45	55	140	
芸能科			45	45	
家政科		15		15	音楽13、美術・工芸・書道20、体育12
計	75	141	184	400	

昭和41年4月入学生の出身地

学 校	下越地区	中越地区	上越地区	県 外	計	割合(%)
新潟本校	47	4	2	28	81	18
長岡分校	56	42	2	59	159	36
高田分校	35	27	31	112	205	46
計	138	73	35	199	445	
割合(%)	31	16	8	45		100

平成25年4月入学生

課 程	定 員	県内出身	県外出身	その他	計	男 性	女 性
学校教員養成	220	133	88	1	222	112	110
学習社会ネットワーク	45	33	13		46	12	34
生活科学	15	9	6		15	1	14
健康スポーツ科学	30	5	28		33	24	9
芸術・環境・創造	60	22	38		60	9	51
計	370	202	173	1	376	158	218
割合(%)		54	46		100	45	55

10 卒業生数と進路

卒業生の就職は、往年のように教職だけではありません。平成5年以降少子化の影響を大きく受け、学校の統廃合もあって教職への途が急激に狭くなりました。多くの大学や専門学校で教員の資格が取得できるようになった現在は、総合大学の中での教員養成という点を生かすと共に、学部・院の一層の充実を願って、優れた人材の育成を期待したいと思います。

修・卒年度	2学年修了生				4学年卒業生			
	期	新潟分校 (新発田分校)	長岡分校	高田分校	期	新潟分校 (新発田分校)	長岡分校	高田分校
昭和25年度	1	90	152	163				
26	2	112	158	133				
27	3	147	205	151	1	182	4	34
28	4	173	216	175	2	130	3	32
29	5	153	209	173	3	136	14	29
30	6	165	189	142	4	170	12	37
31	7	137	137	169	5	175	13	35
32	8	154	154	113	6	184	13	44
33	9	137	138	137	7	203	14	47
34	10	130	127	136	8	208	14	46
35		4	4	4	9	250	17	44
36					10	270	15	41
37					11	267	15	41
38					12	265	15	41

※昭和37、8年度ころまでは、分校修了者と4学年卒業者が大多数重複

(家政科) (芸能科)

卒業年度	期	卒業生数	教職関係	割合(%)	就職	進学	未就職その他
昭和56年度	29	454	367	80.8	23	8	56
昭和60年度	33	479	324	67.6	66	20	69
平成元年度	37	462	302	65.3	113	23	24
平成6年度	42	442	153	34.6	112	41	136
平成22年度	58	393	119	30.3	148	併せて	126
平成24年度	60	368	133	36.1	166	25	44

課 程	卒業生数	教職関係	公務員	一般企業	進 学	未就職その他
学校教員養成	210	116	21	38	12	23
学習社会ネットワーク	45	3	4	32	1	5
生活科学	17	2	1	9	2	3
健康スポーツ	34	5	6	17	1	5
芸術・環境・創造	62	7	1	37	9	8
計	368	133	33	133	25	44
割合(%)	100	36	9	36	7	12

大学院 (修了した学生が有職者かどうかは不明)

学校教育専攻	11	6	0	2	1	2
教科教育専攻	38	23	0	7	1	7

11 同窓会設立に貢献した支部・学科

支部

支部の興亡は、同窓会自身の盛衰の歴史と重なっています。初期のころは、組織化された支部は総会で選出された支部長でしたが、未組織の支部は、事務局から依頼された支部長(または代表者)を中心として組織化を図っていくように進めていきました。

支部組織は、基本的には総会開催をもって成立としました。市町村合併もあって、編成の方法や支部数は時々変わりましたが、平成16年度までは支部で規約や名簿を作成し、本部会費や支部会費を徴収して事務局に一括納入し、教育新報も支部を通じて配布されるなど支部活動も活発に行われました。(平成10年代には、数年間、福島支部(会員数約150名)もありました。)

しかし、これでは支部の負担が大変ということで、平成17年度より事務局から各学校に直接教育新報や資料を送るシステムに変更しました。現在は、(平成22年度から上越支部を加えて)35支部になっています。

支部名	組織した年	内 容
新 潟	昭和31年	初代支部長佐野 宏、昭和33年5月16日の総会(柳水園)は60余校200名近く参加、36年302名 44年737名、50年には千名を超え、5ブロック制に、53年には12区に編成
長 岡	昭和31年	初代支部長江口健一(巻高校)、33年第3回総会では金子忠雄支部長、出席者20名、41年再出発 44年第1回研修会(坂之上小)を開く、57名参加
北蒲・新発田	昭和31年	4月29日結成、初代渡辺謙一郎、299名、支部会費100円、その後10年活動なし、40年11月20日 総会を開く、支部長畑山敏雄、478名、支部会費200円
北蒲原	昭和33年	昭和33年4月準備会を開く(安田17名、京ヶ瀬15名)
村上・岩船	昭和30年	昭和27年ころから動きあり、30年ころ60名で結成したがその後活動なく消滅、33年6月8日再結成 120名、支部長吉澤孝一、50年10月再々設立総会、51年で152名
西蒲原	昭和46年	昭和27年ころから準備会を開催して話し合う、以後、村ごとの動きがあったが全体の組織化できず、 昭和46年発足、会費200円、50年には名簿作成・会報発行・研修会(シンポジウム)を開く
五 泉	昭和33年	昭和33年6月準備会を開く、会員数36名
新津・中・南蒲	昭和33年	昭和33年6月15日、新津第二小学校で準備会を開く
3市中・東蒲	昭和45年	2月1日仮の設立総会、5月24日新津第一小で正式に総会を開く、46年7月10日第2回総会(60数名)
白 根	昭和33年	昭和33年度本部会費納入率100%
東蒲原	昭和33年	昭和33年度本部会費納入率100%
亀 田	昭和33年	連絡責任者を置く
燕の会	昭和32年	2月1日総会(役員選出、初代支部長本間英輔、会則設立、昭和33年度会費納入100%、46年で68名)
佐 渡	昭和41年	1月16日結成したが実働は43年の支部総会、初代支部長成田栄治、44年6月1日の総会出席者は30名 45年5周年記念研修会、50年に10周年記念研修会を開く
三 条	昭和32年	昭和31年ころから活動開始、正式には32年発足(50名)、33年7月5日第2回総会を二中で開く(90余名) 41年ころから活動を活発化、43年で154名(女性53名)、支部会費200円
中頸城	昭和31年	34年1月18日支部総会を開くが活動は難しい
柏 崎	昭和33年	昭和33年度本部会費納入率100%
見 附	昭和33年	昭和33年度本部会費納入率100%
加 茂	昭和34年	一度34年に正式に結成したが、実際の活動はなし
魚 沼	昭和33年	昭和33年5月湯之谷村などに連絡責任者を置く
小 国	昭和33年	昭和33年に学校責任者(11人)を置く

※昭和54年度以降(53年度当時、未結成) 中頸城、東頸城、西頸城、高田、新井、加茂、小千谷、十日町、古志栃尾

学科の起こり

特に中越地区の学科のゼミやサークルのメンバーによって、同窓会設立の機運が高まりました。

学部の教科・課程の変更などで、現在につながっていないものもありますが、これからは関係するもの同士の合併統合も考えていく必要があります。平成12年度で同窓会傘下の学科は24、平成21年度から30を数えます。

年	学科名	代表者	活動の様子
昭和31年	教育学	平田 信吾	昭和42年の会員数180名、年1回総会・幹事会開催、昭和61年当時646名
	数学談話会	山田 舜一	会誌「数学談話会記」第1号は34年発行、毎年発行、総会は年1回、昭和47年は20周年記念総会、現在450名、総会(8月)、小・中合同研修会(10月)、年会費2千円
昭和31年	教育心理学科談話会	齋藤 俊一	昭和42年ころで会員200名以上、年会費300円、総会、春秋研究例会、談話会だより・名簿発行、現在200名
	長岡地区歴史ゼミナール	宮田 常夫	毎月第2土曜日、長岡分校研究室、3~4名参加から出発、指導者五十嵐正一教官 昭和42年当時で会員は12名(小・中・高)
昭和32年	長岡算数教育を語る会	金子 忠雄	難波・長尾教官が指導、第2土曜日、会員15名で出発、テキストの輪読、その後例会は第3土曜日に、昭和52年では会員小学校教員35名、金子忠雄指導、会費1500円
昭和33年	長岡地区教育ゼミナール	中川 幸次	中川、大滝陸奥が中心、毎月第3土曜、当時の会員24名、石塚松司教授が指導
	禅 研	西村 正儀	事務局は教育学部内、是恒教授指導、毎土曜宗現寺会場、年1回1週間研修(8月)
昭和34年	生物科研究サークル (生物科研究ゼミナール)		TPS研究の渡部謹一郎氏が中心、会誌発行、サークル活動開始、昭和42年当時で卒業生150名以上、佐藤善佳中心
昭和35年	英語科同窓会	丹呉 昭三	昭和35年3月2日発足、総会開催、規約制定、機関誌「リュニオン」昭和32年2月創刊、山崎謹一郎教官指導、昭和42年ころで200名、現在会員700名、会費2千円、会誌発行、集い
	中越国語ゼミナール	五百川新一	昭和35年5月、第3日曜分校研究室6名で出発、指導者押見虎三二教官、「若い国語教室」発行 昭和43年当時で会員17名
昭和38年	新潟地理研究会	若林 進 江口 直禎	昭和28年3月卒の学生4人が中心に組織、磯部・鈴木教官が長く指導、昭和44年には「日本地理学会新潟例会」を研究室と共催、51年当時で会員289名、年会費1000円 現在は610名、総会のほか巡検、名簿作成、会誌「新潟地理」を発行
	化 学	宮本 弘	昭和38年3月卒業生で組織、昭和45年ころから組織が固まる、学会紹介、卒論発表など 現在250名、名簿整理、会費なし、平成24年5月に宮本教官叙勲受賞記念祝賀会開催
昭和40年	経済科同窓の集い	吉田 三男 吉岡登美雄	1月越路会館で第1回総会(10数名)、その後数年に一度顔合わせ程度、昭和48年の第3回目の集いから研究発表・名簿作成も進む、現在265名、会費なし、学科の集い開催
昭和41年	物理学科		是沢・田中両教官が博士号を取得した祝賀会で機運高まる、昭和47年当時、月1回日曜午後、毎回10人くらい参加
	新潟歴史教育研究会	佐野 宏	12月3日結成、昭和50年当時で会員約800名、会費千円、機関誌「史学論考」や会報(2回)の発行、総会と史学歴史教育講座や巡検を開催、現在265名、会費なし
	社会学懇談会	大西 正美	昭和41年秋、新潟で開催された「日本教育社会学定例大会」を機に設立、100名くらい 会誌「教育社会学」を発行
	哲学・倫理学研究室	伊藤 陽一	42年までの卒業生は39名、名簿整理と「哲学・倫理学研究室だより」発行
	長岡地区英語ゼミナール	金原 康夫	昭和41年10月結成、月1回諸橋教官を指導者に分校研究室に7~8人集まる
昭和42年	美術科同窓生の会	野村 秀夫	毎月1月14日「美術研究会」を大学で開催、「美術だより」(年2回)発行、昭和48年に会員で「ヨーロッパ大研修旅行」を実施
昭和43年	体 育	近藤 勝寛	
昭和44年	家庭科同窓会	長谷川道子	長岡分校の悠苑会(昭38)と新潟本校の小学校家庭科同窓会が昭和44年に統合、平成13年8月26日「萌木会」と改称
昭和47年	国語国文学会	押見虎三二	昭和47年8月29日結成、48年当時在学学生を除いて85名在籍、年会費千円、51年80名、会費1500円、総会、研究発表会開催、会報第3号発行
不 明	新潟市高校倫理・社会 教育研究会	石本 一誠	



H22.2.27 生物科の集い

新潟大学教育学部同窓会事務局

住 所：〒950-2181
新潟市西区五十嵐2の町8050
新潟大学教育学部内
電話・FAX：025-263-6760(火~金 13:00~17:00)
Eメール：dousou@ed.niigata-u.ac.jp